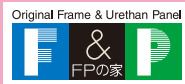


暮らしに役立つ情報満載



住まいるニュース

 2022
3
vol.136

今月の特集

災害から暮らしを守る家

※「情報」に関する読み解く力も鍛えておこう！

2011年3月の東日本大震災は今でも記憶に新しいですが、その後も最近では、小笠原諸島の海底火山による軽石被害や、トンガ沖の海底火山噴火に伴う津波、全国各地での記録的な集中豪雨などの自然災害が続きます。防災への意識が高まっています。

家族の暮らしを守るには
災害に強い家に住むこと

外国にくらべて日本は、地震や津波、火山噴火、台風など、自然災害が発生しやすい世界有数の災害大国です。そのため、災害に対する国民の意識も高く、日頃から万が一に備えた防災対策を行なっている方も多いのではないのでしょうか。ですが、いくら食料の備蓄や防災グッズを揃えても住む家が災害に弱ければ意味がありません。自然災害から家族の暮らしを守るには、災害に強い家に住むことが大きな安心につながります。

日本における過去の大規模災害を振り返ると、その多くは台風や大雨による水害と地震による震災が占めています。こうした傾向を踏まえると、防災を考慮した家づくりには、水害と震災への対策を優先すべきだということがわかります。

水害対策にはまず「**立地**」を考慮することが第一です。一般的には海や河川の近くや低地などが水害の危険性が高い土地だと言われています。「ハザードマップ」には水害の被害頻度やその範囲がマップ上で表されており、洪水や土砂災害、津波等のリスク情報をまとめて確認することができるので、立地選びの参考にとると良いでしょう。

構造上で水害に遭いにくくするには、建物を「浸水」から守ることで、具体的な対策

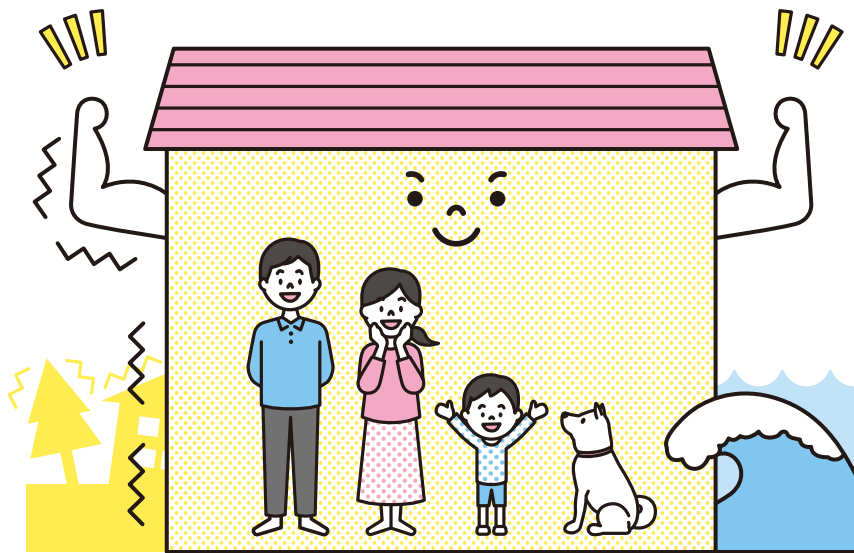
策としては、敷地を「かさ上げ」する、もしくは基礎を高くすることで「浸水」を防ぐ方法です。ただこれには家の玄関まで階段が必要になったり工事費が割増になるなどのデメリットもあるため両面を把握した上で検討することが大切です。

震災に強い壁構造になる
FP軸組工法の安心住宅

地震対策も水害対策と同様に立地が大変重要です。**地盤が固い土地**は柔らかい土地に比べ、震度が小さくなることが分かっており、**液状化現象の発生頻度も低い**と言われています。地震の被害予測は同じく「ハザードマップ」で確認できますので参考にしてください。建物の耐震性を考

えると、鉄筋コンクリート(RC)造は材料強度としては高いですが、建築費や解体費が高額で、あまり一般的ではありません。現実的にはやはり木造住宅が主流であり、その耐震性を高めることを考えると、柱と筋交いで作られた壁よりも柱と合板などの面材で作られた壁の方が壁倍率は高く、揺れに強い構造となります。

「FPの家」は、硬質ウレタンと木枠パネルを一体成形したFPウレタン断熱パネルを建物の躯体に組み込むため、一般の工法より強い剛性を備えた住宅です。また、断熱性はもちろん、高い気密性と耐水性を有しているため水害に非常に強い住宅でもあります。安心に暮らせる「FPの家」で防災への備えをしませんか。



住まいの知恵袋

り災証明書



地震や風水害などの自然災害に加え、火災にあった際に住宅の被害状況を調査した上で被害の程度を証明する、被災者を支援するための手続きに必要な書類。自然災害または火災による被災

のかによってり災証明書の請求先が異なります。**自然災害**による被災の場合は被災地の市町村役場に、**火災の場合**は被災地を管轄する消防署に申請を行います。り災証明書は、り災台帳に登録した内容を証明するもので、保険金の請求や各種支援・救済措置などの手続きの際に提出を求められることがあります。被害の程度は、市町村による現地調査または自己判定方式により、「全壊」「大規模半壊」「半壊」「準半壊」「準半壊に至らない」の5つの区分に認定されます。

お金の豆知識



生活再建支援金

阪神・淡路大震災がきっかけとなってできた被災者生活再建支援制度により、自然災害で住宅が全壊するなどの被害があった世帯に対して、国や都道府県が生活再建のため資金を援助する支援金。この制度が適用される地域に住んでいる場合、家が全壊した世帯は最大で300万円の支援金を受給することができます。

暮らしの1ポイント



黄砂

春になると、中国の乾燥地域から偏西風に乗って日本に飛来する黄砂。従来は自然現象として理解されてきましたが、近年では森林減少や砂漠化の影響が大きく、環境問題としての認識が高まっています。黄砂自体は砂なので有害ではありませんが、空気中に漂う汚染物質を吸着するため健康への被害が懸念されます。

できた！簡単DIY

DIYで使う木材とその種類



木材は加工しやすいためDIY初心者にとって身近な素材ですが、種類ごとに用途の向き不向きがあるためご注意ください。例えば、木材を接着剤で貼り合わせて作られた集成材は木目が美しく反りや割れも少ないので

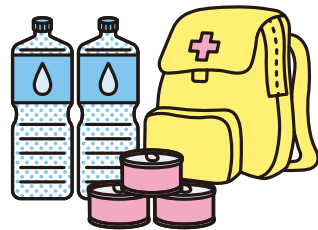
テーブルやイスを作るのに最適な木材です。また、ワンバイ(1×)材やツーバイ(2×)材と呼ばれる規格サイズのSPF材は材質が柔らかく加工しやすい反面、耐水性が低いので屋外で使う際は防腐処理が必要です。薄い板を貼り合わせたベニヤ合板は、価格も安く天然木やプラスチックなどで表面が加工されているものもあるため仕上がりがよく、棚を作るには最適です。このように、作る作品に合った木材を選んでDIYでいろいろな作品作りにチャレンジしてみましょう。

おしえて！

Dr.住まいる

食料・飲料などの備蓄

災害でライフラインが止まった場合の備えとしての備蓄。支援物資は災害から3日ほどで到着することから最低3日程度が目安と言われています。備蓄は循環させながら蓄えるローリングストックという方法がおすすめ。いつも使う食材を多めに購入し、賞味期限の手前で消費して再度追加すると無駄なく備蓄できます。



※賞味期限切れのカップめん
現在消費中！